

濃度基準値の設定の優先順位

| 年度 | 報告書 ^{※1} の設定数 | 物質数 ^{※2} | 選定基準 ^{※3} |
|----------------|---------------------------|-------------------|---|
| 令和4年度 | 150 | 118 (84) | <p>リスク評価対象物質（特別則への物質追加を念頭に、国が行ってきた化学物質のリスク評価の対象物質をいう。以下同じ。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 測定・分析方法があるもの…約100 ○ 測定・分析方法がないもの…約20 |
| 令和5年度 | 200 | 158 (112) | <p>リスク評価対象物質以外の物質であって、吸入に関するACGIH TLV^{※4}-TWA^{※5}があり、かつ、測定・分析方法があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ DFG MAK^{※6}や日本産業衛生学会の許容濃度が定められており、ACGIH TLV-TWAと値が一致するもの…約280のうち約55 ○ DFG MAK等のばく露限度が定められているが、ACGIH TLV-TWAと値は一致しないもの…約280のうち約100 |
| 令和6年度 | 200 | 167 (74) | <p>リスク評価対象物質以外の物質であって、吸入に関する職業ばく露限度があり、かつ、測定・分析方法があるもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ACGIH TLV-TWAのみ定められているもの…約280のうち約110 ○ ACGIH TLV-TWAはないが、ACGIH TLV-STEL^{※7}又はTLV-C^{※8}があるもの…約15 ○ ACGIH (TWA・STEL・C) はないが、DFG MAK等があるもの…約55 |
| 令和7年度 令和8年度 | 各年度 200 | 344 | <p>リスク評価対象物質以外の物質であって、吸入に関する職業ばく露限度があり、かつ、測定・分析方法がないもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ACGIH TLV-TWAがあるもの…約225 ○ ACGIH TLV-TWAはないが、ACGIH STEL又はCがあるもの…約20 ○ ACGIH (TWA・STEL・C) はないが、DFG MAK等があるもの…約100 |

※1 職場における化学物質等の管理のあり方に関する検討会報告書（R3.7.19）

※3 いずれの選定基準も管理濃度の定めがない物質に限る。

※5 8時間時間加重平均濃度に関するばく露限度値

※7 短時間ばく露濃度に関するばく露限度値

※2 検討した（または検討予定）物質数。括弧内は濃度基準値設定物質数。

※4 米国政府労働衛生専門家会議が勧告しているばく露限度値

※6 ドイツ研究振興協会が勧告する最大職業濃度値

※8 天井値（いかなるときも超えてはならないばく露限度値）